



## 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 平成22年度担当者会の開催報告

平成22年11月24日（水）、広島県呉市において、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会平成22年度担当者会を開催しました。当日は64名が参加し、平成22年度の活動報告や来年度の総会提案に向けた活動方針について議論が行われました。



### 開会

協議会の副幹事長である菅通泰四国中央市建設部港湾課長より、有意義な総会を開催することができたことの報告と、来年度は協議会設立20周年で記念すべき総会（広島県大竹市）でもあるのでより多くの首長さんにご参加いただきたいというお願い、また協議会が瀬戸内海沿岸の産業振興、観光促進の重要な原動力になるべく、今回の担当者会での率直な意見により、有意義な会としていただきたい旨の開会挨拶で始まりました。



次に開催市を代表して廣津忠雄呉市副市長から「この瀬戸内海の中で、各会員が各地域で新しい街をつくらうとしている、このような協議会こそが、夢に向かったすばらしいものであると私は認識している。様々な忌憚のない意見を交わし、各地域で新しい街を是非とも作っていただきたい」との挨拶をいただきました。

続いて、事務局長である工藤健一中国地方整備局港湾空港部沿岸域管理官から、瀬戸内海の豊富なポテンシャルを活かそうという様な取り組みが最近よく行われるようになってきており、まさに今瀬戸内海というもののブランドを打ち出していく絶好の機会と感じている。そうした中、この瀬戸内・海の路ネットワークは瀬戸内に目を向けたネットワークの老舗でもあり、瀬戸内海というブランドを通じた、地域振興、観光振興、そうした地域の活性化へ繋げるためにしっかりと、今回の担当者会を通じて議論して瀬戸内海の活性化に繋げていきたい旨の挨拶を行いました。



## 全体会と分科会

第1部の全体会では、平成22年度における先導的活動及びクルーズ船寄港地歓迎イベント支援の活動報告とこれからの協議会のあり方に係る提案の説明がありました。

第2部の分科会では、魅力検討、環境事業、情報発信の各実行委員会に分かれて議論が行われ、続いて第3部全体会では、各実行委員会で議論した内容が報告されました。

主な内容は以下のとおりです。

### ○魅力検討委員会

今年度の活動である瀬戸内国際芸術祭を機に行われた瀬戸内海 SailArt2010 において、ヨットレース体験、体験クルーズを通して瀬戸内海とヨットの魅力を発信・PR したことについての報告や、瀬戸内海クルーズ推進活動におけるクルーズ船寄港地歓迎イベント支援について、現在年1回の支援となっているものを複数回の支援にして欲しいといった要望や、今年度香川県三豊市において開催した中四国・瀬戸内クルージングサミットについて、来年度も引き続き活動支援を頂きたい旨の要望がありました。また来年度は、瀬戸内海の海の路を通じた地域振興を図るため、民間事業者と連携して瀬戸内海を巡るクルーズの社会実験を検討していく事が示されました。



### ○環境事業委員会



「リフレッシュ瀬戸内」と「海の健康診断」を通して、環境保全啓発に繋げていくため、来年度も引き続き取り組むことや、企業の CSR 活動、NPO との協働を継続・拡大すること、タイムリーな宣伝活動を行うため 5 月下旬までには実施計画・ポスター・チラシを作成し 8 月末迄には集約すること、また「海の健康診断」については、来年度 10 周年となることもあり、蓄積したデータをクリーンアップ全国事務局 (JEAN) へ情報発信し、子供会、学校等への参加を呼びかけ協働の和をさらに広げていくこと等が示されました。

### ○情報発信委員会

今年度の活動として、一般の方へさらに興味を持っていただけのような魅力ある HP に向けて、各地域のイベント・レジャー等の最新情報を更新してもらう事、及び各会員トップページへのバナー登録、リンクのお願いについて毎月各会員へメールにて呼びかけていることや食のブログについてはこれまで事務局において情報更新していることなどが報告されました。また、協議会 HP の認知度向上策として、イベ



ント情報の掲載については観光協会等と協力して情報発信することも可能、食のブログについては会員の中でも情報発信したい人がいるのであれば掲載すべき、他部局と連携していろいろな情報を掲載していく、といった様々な意見を踏まえつつ、今後は、官民連携による「公設民営による瀬戸内海の海の路を通じた地域振興」を考慮し、情報発信の方策について検討を進め、必要な情報をより効果的に発信できる体制づくりを構築することが示されました。



その後、平成 19 年度より始まった瀬戸内海首長サミットにおいて決議した提言についてのその後のフォローアップ状況（平成 21 年度まで）が報告されました。

分科会、全体会を通して、担当者からは活発な意見や質問がなされ、大変有意義な担当者会となりました。

## 現地視察

翌 25 日は呉港阿賀マリノポリス地区にある建設中の臨港道路において、橋梁建設時における様々な工法の説明を受けながら、現場視察を行いました。その後、戦艦大和の模型が展示されてある呉市海事博物館へ場所を移し、地元ボランティアガイドにより、大和に絡んだ様々な話について説明を受け視察を行いました。



呉港マリノ大橋（仮称）